



MS341-52013・MS341-52014 フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はプロボックス／サクシード用TRDフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記TRDフロントスポイラーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■品番・適合一覧表

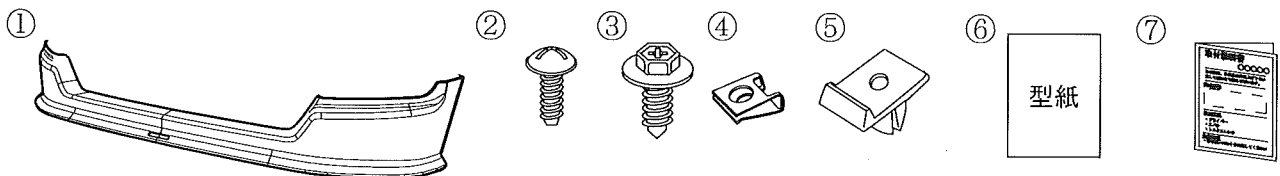
品番	塗装色	備考
MS341-52013-A0	ホワイト (058)	プロボックス 全車 '14.08～ サクシード
MS341-52013-C0	ブラック (209)	
MS341-52014-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

■構成部品一覧表

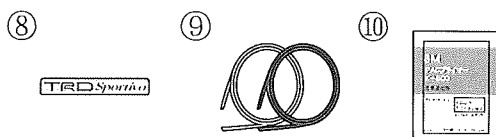
No.	品名	品番	個数	備考
①	フロントスポイラー		1	
②	タッピングスクリュー		4	5×16
③	タッピングスクリュー		3	6×16
④	Jナット		4	5mm
⑤	グロメット		3	
⑥	型紙		1	
⑦	取付・取扱要領書 (本書)		1	本書は大切に保管して下さい。

以下、MS341-52014-NP (未塗装品セット) のみに同梱

No.	品名	品番	個数	備考
⑧	エンブレム		1	
⑨	モール		(各1)	黒／グレー L=1300mm
⑩	PACプライマー		1	K-500



以下、MS341-52014-NP (未塗装品セット) のみに同梱



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

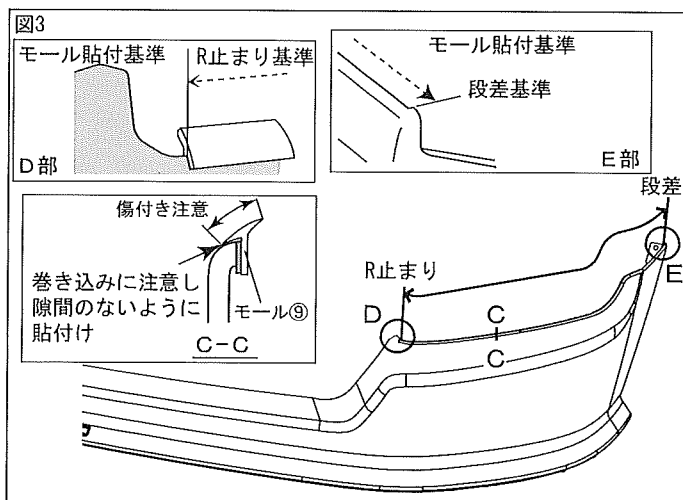
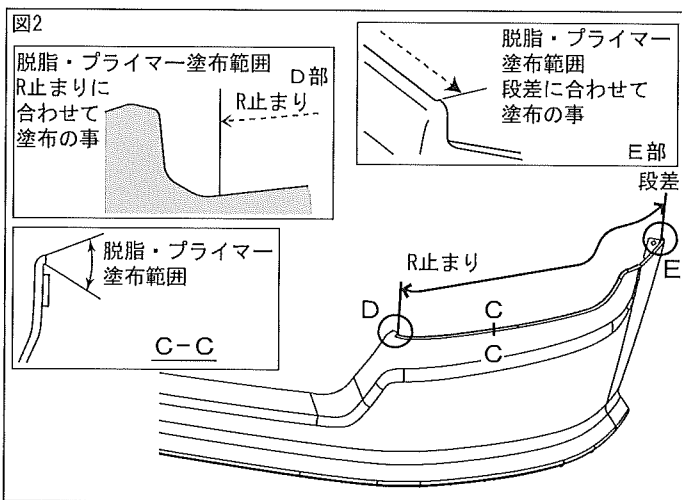
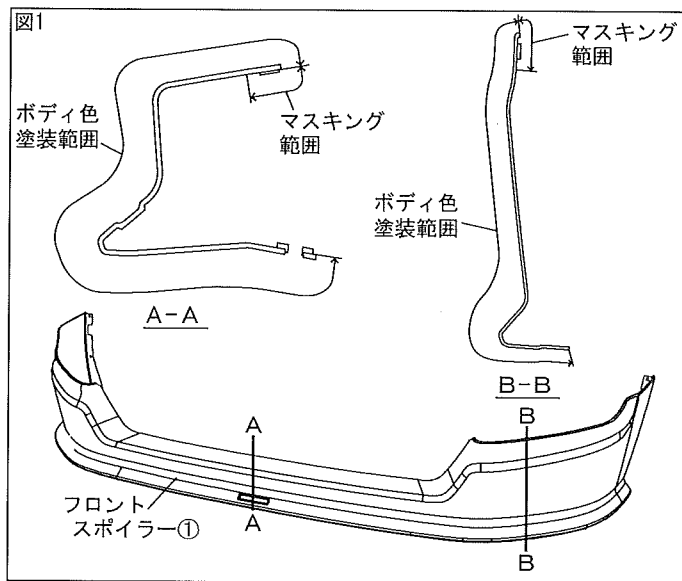
 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けてください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット（MS341-52014-NP）は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。塗装後の乾燥時、乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意して下さい。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定して下さい。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両へのフロンツボイラーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS341-52014-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



□フロントスポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図1のようにフロントスポイラー①を塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。サーフェーサーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□モールの貼付け

1. 図2のようにモール貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマー⑩を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

2. 図3のようにフロントスポイラー①に、モール⑨の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。

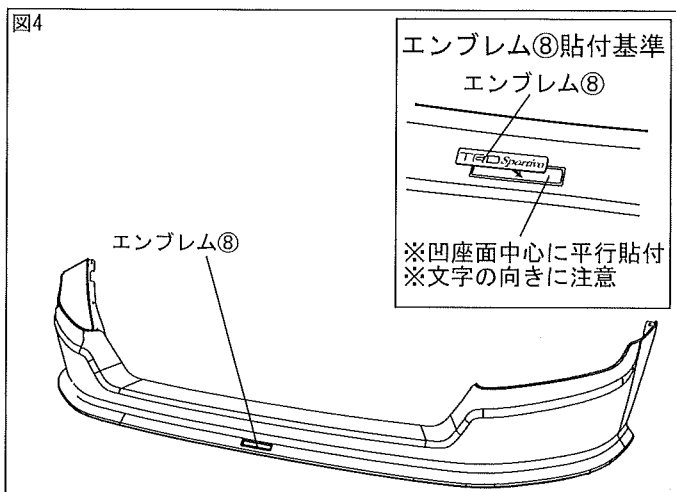
{49N (5kgf) 以上}

モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モール⑨は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

図4

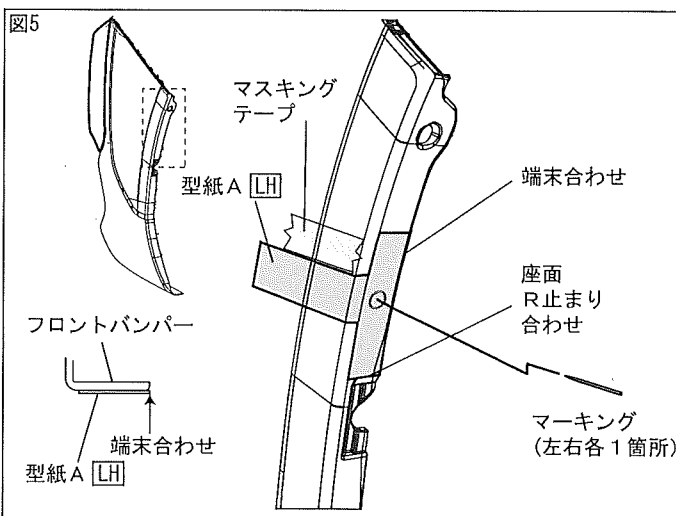


□エンブレムの取付け

- 図4のようにエンブレム⑧貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂しエンブレム⑧を貼付ける。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図5

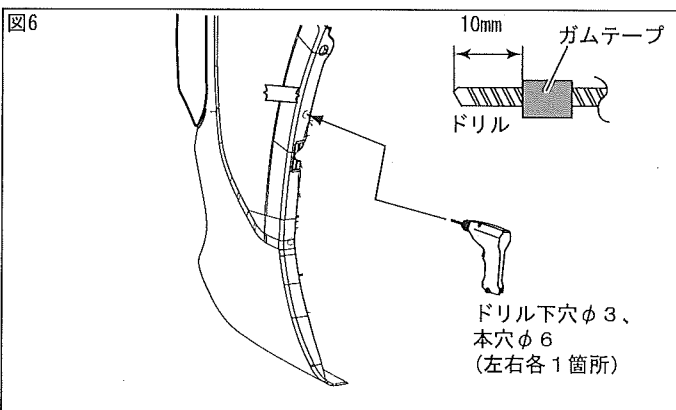


□取付準備

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

- 型紙⑥の型紙A [LH] [RH] を切り取り、図5のようにフロントバンパーのホイールハウス部に貼り付けマーキングする。
(左右各1箇所)
- 図5のようにフロントバンパーに高さ位置をマスキングテープ等でマーキングする。
(左右各1箇所)

図6



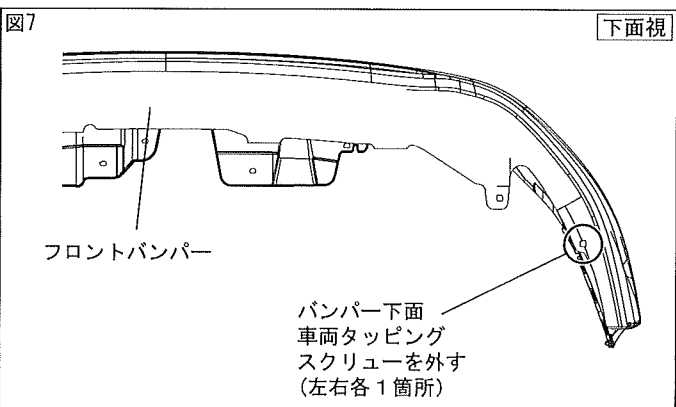
- 図6のようにφ3、φ6のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3のドリルを使用してホイールハウス部のマーキング位置に下穴をあける。
(左右各1箇所)
- 図6のように下穴にφ6のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(左右各1箇所)

🔧 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

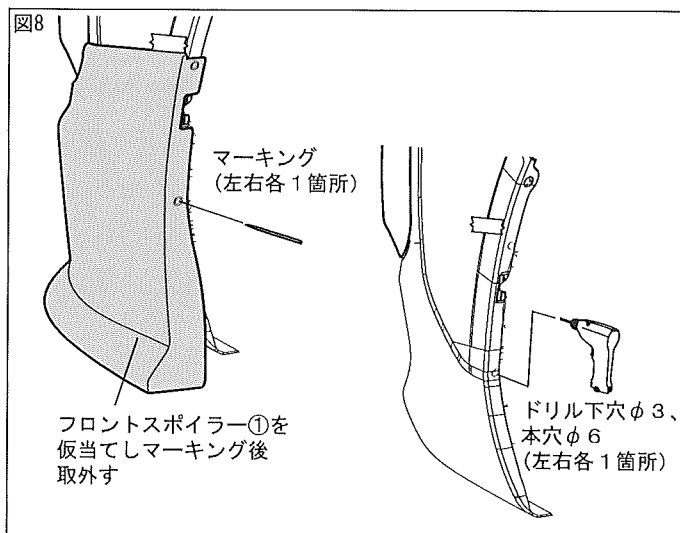
△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きにならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

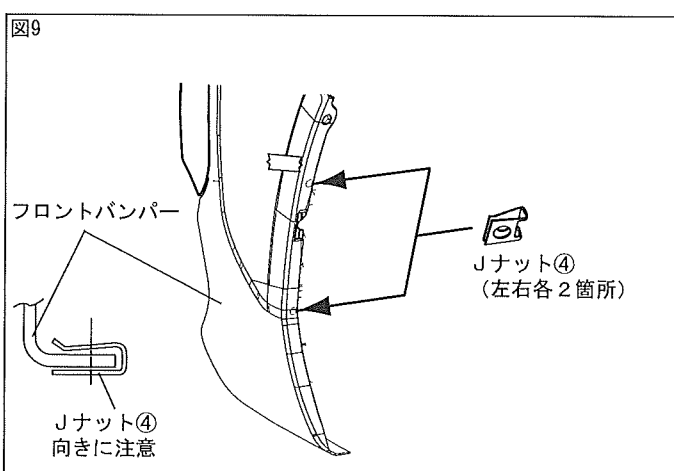
図7



- フロントバンパー下面部の車両タッピングスクリューを外す。
(左右各1箇所)

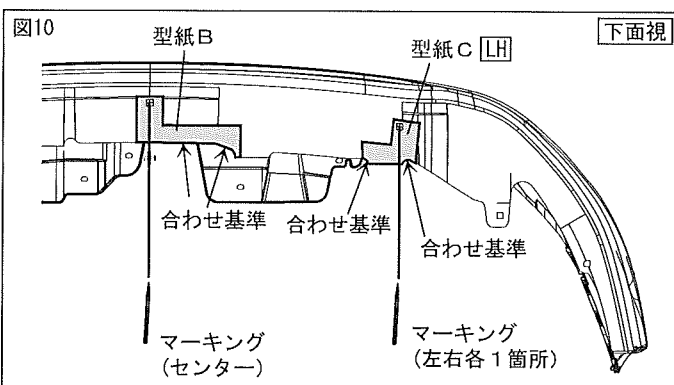


6. フロントスポイラー①をフロントバンパーにマーキング位置に合わせて仮当てし、ホイールハウス部下側にマーキングする。
(左右各 1箇所)
7. フロントスポイラー①を外す。
8. 先ほどのストッパー付きφ3のドリルを使用してホイールハウス部のマーキング位置に下穴をあける。
(左右各 1箇所)
9. 下穴にφ6のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(左右各 1箇所)



10. 図9のようにフロントバンパーホイールハウス部にJナット④を差し込む。
(左右各 2箇所)

△注意：Jナット④の差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリュー②が取り付けなくなります。



11. 型紙⑥から型紙B、C [LH][RH]を切り取り、図10のようにフロントバンパーの下面部に合わせてマーキングする。
(3箇所)
12. 貼り付けた型紙⑥をフロントバンパーからはがします。

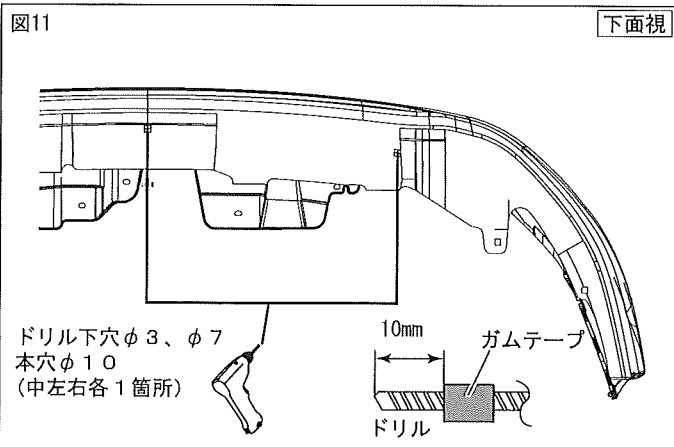
13. 図11のようにφ3、φ7、φ10のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3のドリルを使用して下面部のマーキング位置に下穴をあける。
(左右各 3箇所)

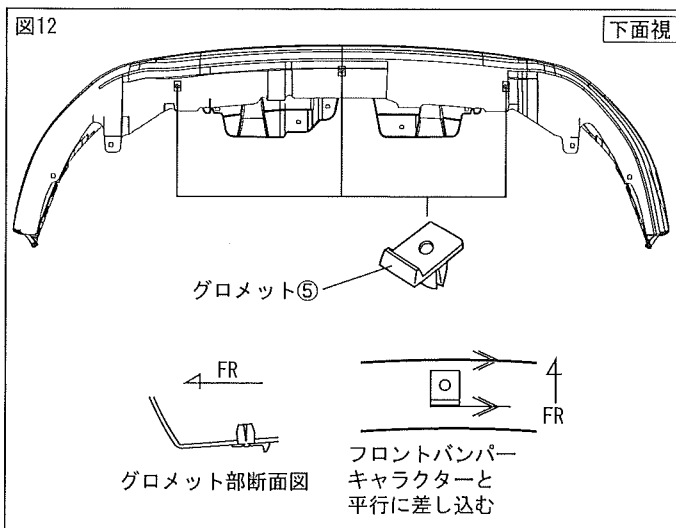
14. 図11のように下穴にφ7→φ10の順にドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(3箇所)

△アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

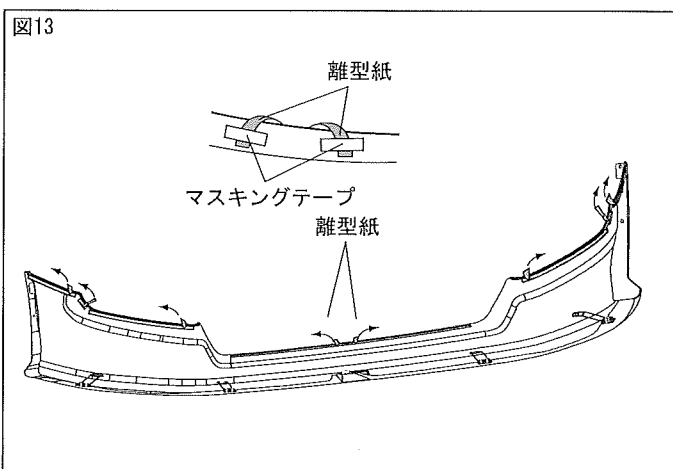
△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。





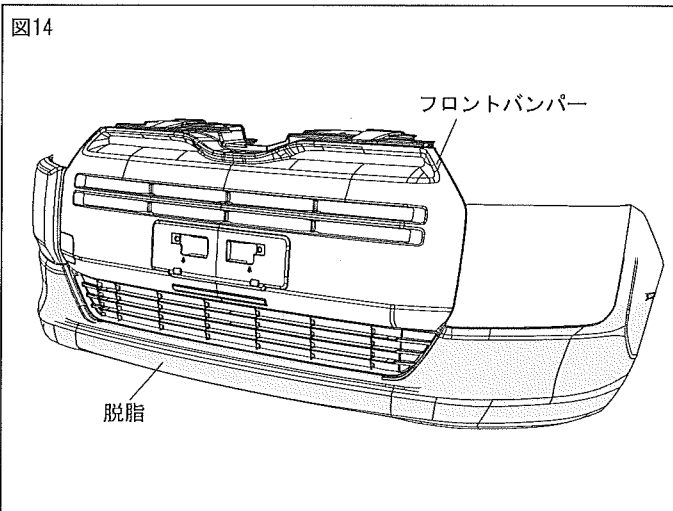
15. 図12のようにフロントバンパーの下面の穴あけした部分にグロメット⑤を差し込む向きに注意しながら差し込みます。
(中左右各 1 箇所)

⚠ 注意：外側のグロメット⑤を差し込む時に、フロントスポイラー①のブラケットと向きを合わせてください。



16. フロントスポイラー①の両面テープの離型紙を、図13のように中央から外側に約 30 mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各 4 箇所)

⚠ 注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。



17. 図14のようにフロントバンパーのフロントスポイラー①取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向にふいて脱脂する。

⚠ 警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください

⚠ 注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図15

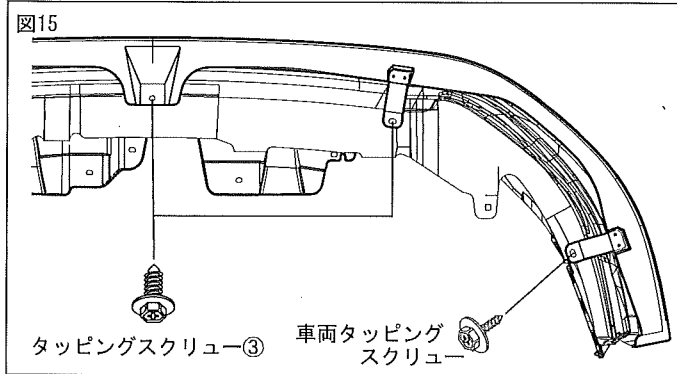


図16

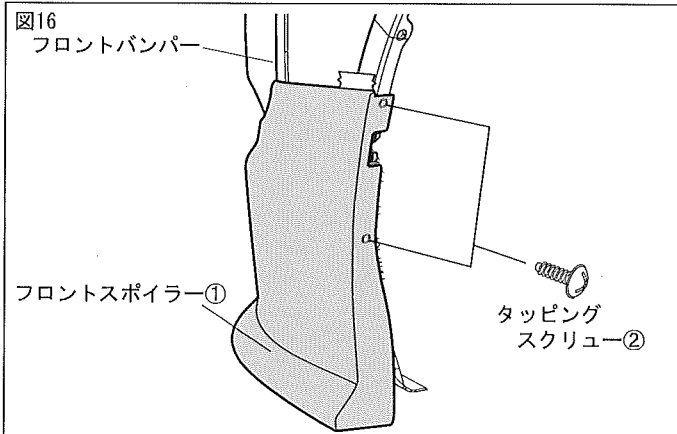
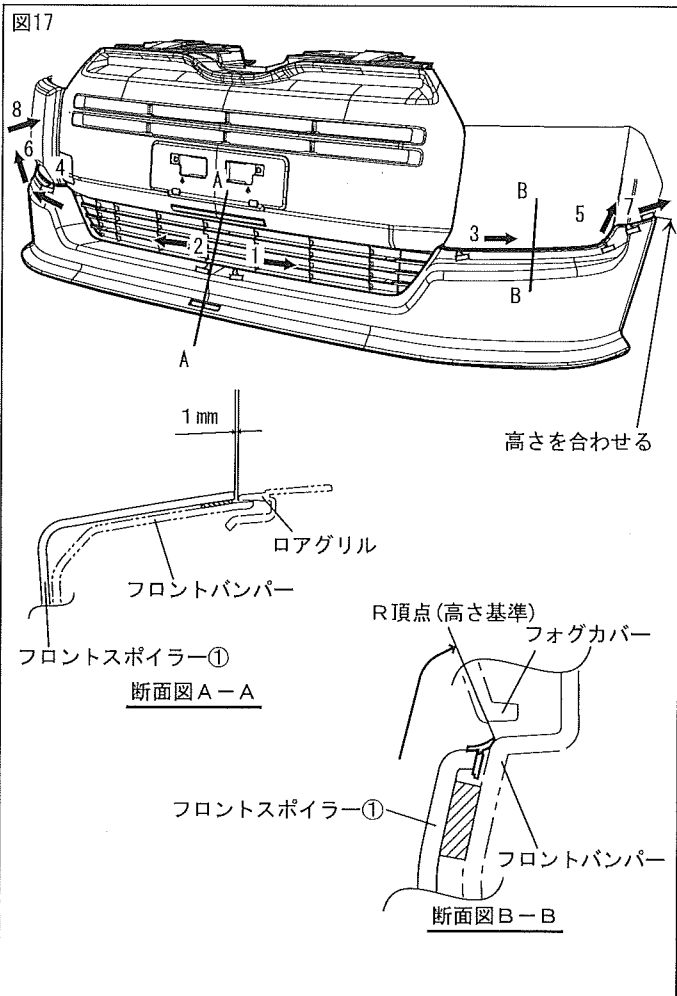


図17



□取付要領

1. 図15のようにフロントスポイラー①をフロントバンパーにかぶせ、タッピングスクリュー③と車両タッピングスクリューで仮締めする。(5箇所)

2. 図16のようにフロントバンパーにフロントスポイラー①を合わせ、ホイールハウス部にタッピングスクリュー②で仮締めする。(左右各2箇所)

3. 図17の断面図を参考にフロントスポイラー①センターとロアグリルの間に厚さ1mmのシム等を挟み、ホイールハウスのマスキングテープに高さを合わせ左右のズレ、隙が無いを確認し、両面テープの離型紙を左図番号順に剥がしながら貼付け、確実に圧着する。

(左右各4箇所)

{49N (5kgf) 以上}

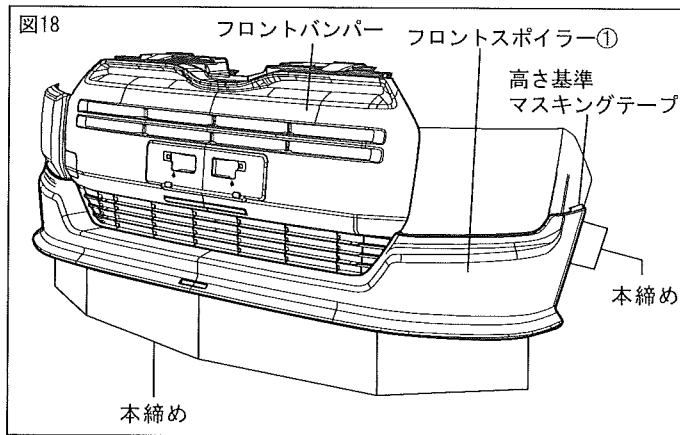
アドバイス： 厚さ1mmのシムをご用意してください。無い場合は、厚さ約1mmのワッシャー等で代用してください。

△注意： 両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意： センター部の両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意： 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△警告： 両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。



4. 図18のように仮締めしておいた下面をタッピングスクリュー③と車両タッピングスクリューで本締めする。

(5箇所)

5. 図18のように仮締めしておいたホイールハウスのタッピングスクリュー②を本締めする。
(左右各2箇所)

△注意：タッピングスクリュー本締めする際、強く締め込み過ぎてしまうと製品とバンパーとの間に隙が発生する恐れがあります。

6. 高さ基準のマスキングテープを剥がす。

■取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラーがタッピングスクリューにて車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。